



◇連続「景観講座」は、都市景観、建築とまちなみ、都市再生・開発にかかわる第一人者が講師を務めます。「景観」や「まちなみ」、「都市開発」をキーワードとして、専門性と一般性の視野に立って、企業関係者から学生、公務員の方々までを対象としています。連続講座として、来年度は「土木デザイン」「景観色彩計画」「照明デザイン」「ランドスケープデザイン」「住宅景観」等のテーマを取り上げていく予定です。

高橋 徹による“都市開発インディケーター分析”

第7回 10月16(木)18時30分～20時30分

1. 〈日本の都市計画制度と景観形成〉

わが国ではこれまで経済の発展のためには景観は損なっても仕方がないとされてきましたが、現在は景観が経済を活性化することが期待されています。第1回は、日本の都市開発の変遷と景観変化、景観形成に大きな影響を与える都市開発制度の概要を説明します。

- 1-1 わが国の都市景観をどう評価するか？
- 1-2 都市開発の遷り変りから見る景観
- 1-3 都市再開発の主要手法(規制緩和、仕組と事例)

同潤会・江戸川アパート



成増駅北口再開発



第8回 11月20日(木)18時30分～20時30分

2. 〈市街地再開発事業と都市景観〉

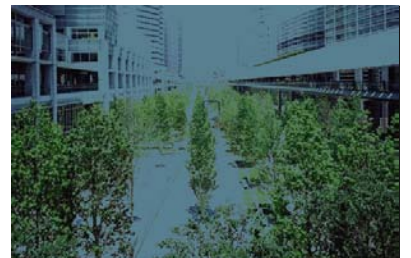
各種の都市再開発手法の中でも、市街地再開発事業に焦点を当てます。再開発事業の仕組み、手順、権利変換方式などの基礎的事項と、再開発事業の変遷を実例で説明し、再開発で形成された景観をケーススタディ的に検証します。

- 2-1 市街地再開発事業の仕組とポイント
- 2-2 再開発の変遷、駅前商業開発から都市再生へ
- 2-3 実例で再開発の景観を考える

大川端リバーシティ21



品川駅東口セントラルガーデン



第9回 12月18日(木)18時30分～20時30分

3. 〈再開発による賑わい再生と活性化〉

人口減少、少子高齢化時代を迎えて、高度利用による保留床処分を前提とした従来型再開発は厳しい事業環境に陥っています。(社)再開発コーディネーター協会からの諸提言をベースに、持続可能な再開発のあり方を考えます。また、連続講座最終回ですので、前2回の講師を交えて総括議論を行います。

- 3-1 新たな再開発のイメージについて
- 3-2 再開発による街なか・賑わい再生の方策とは？
- 3-3 連続講座全体総括(土田旭、曾根幸一、高橋徹)

リバーウォーク北九州



講師プロフィール

高橋 徹 (たかはし とおる)

都市プランナー／(株)日本設計常務取締役都市計画担当

日本都市計画家協会／日本建築家協会／日本都市計画学会ほか／東京工業大学建築学科・同大学院修了1972年／「東京都江東防災拠点再開発」、「相模大野駅周辺整備事業」、「代官山地区再開発」、「武蔵小杉駅南口再開発」など／「新時代の都市計画4 環境共生の都市づくり」(共著、ぎょうせい)

次景観講座シリーズ開催案内

来年も月1回を目標に開催を予定していますが、日本の事情だけでなく、広く海外の潮流を踏まえたり、現在の事例報告だけでなく、歴史的流れを踏まえた、TDAらしい講義内容を検討しております。

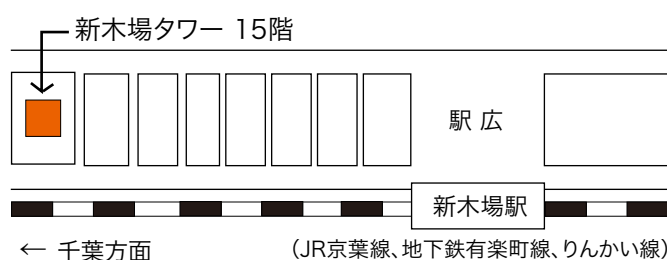
予定テーマ

- ・環境と景観デザイン ・色彩と景観デザイン
- ・日本における環境デザインの歴史
- ・樹木と環境デザイン ・水の環境デザイン
- ・風邪の環境デザイン ・文化的環境デザイン
- ・建築と環境デザイン ・環境デザイン手法
- ・環境デザインエレメントについて など

会場風景



◆会場 新木場タワー 15階 東京都江東区新木場 1-7-22



JR京葉線 新木場駅
東京メトロ 新木場駅
りんかい線 新木場駅
より徒歩5分

◆参加費

各 回：正会員1,000円、賛助会員個人&団体 2,000円(学生1,000円)、一般 3,000円(学生 1,500円)
3 回分：正会員2,500円、賛助会員個人&団体 5,000円(学生2,500円)、一般 8,000円(学生 4,000円)



主 催 特定非営利活動法人 景観デザイン支援機構 (TDA.J)

[お申込み] E-mail: event@tda-j.or.jp ※定員 60名 (先着順)

[お問合せ] Tel: 080-6722-4114 <http://www.tda-j.or.jp/>

※本講座は「都市計画CPD」プログラムの認定を受けています